

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月27日

豊田市長 殿

提出者

住 所 愛知県豊田市高丘新町天王1番地

株式会社アイシン 新豊工場

氏 名 工場長 和田 英之

(法人にあつては、名称及び代表者氏名)

電話番号 0565-54-8611

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、
2024年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場		
事業場の所在地	愛知県豊田市高丘新町天王1番地		
事業の種類	31輸送用機械器具製造業		
特別管理産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	2024年4月1日～2025年3月31日		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	59.035 t	全 処 理 委 託 量	59.035 t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	59.035 t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	57.110 t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.444 t
自ら埋立処分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.000 t
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	61.4975 t	
	前年度	54.7490 t	
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) ・現状で発生している特別管理産業廃棄物の運搬・処理委託は全て電子マニフェスト 処理対応業者にて委託済み、新規委託品目も電子マニフェスト処理対応業者に委託実施			
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業実績値を廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの))

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
2.4

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分
した量

③
0

自ら中間処理
した量

④
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
2.4

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
2.4

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
2.4

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

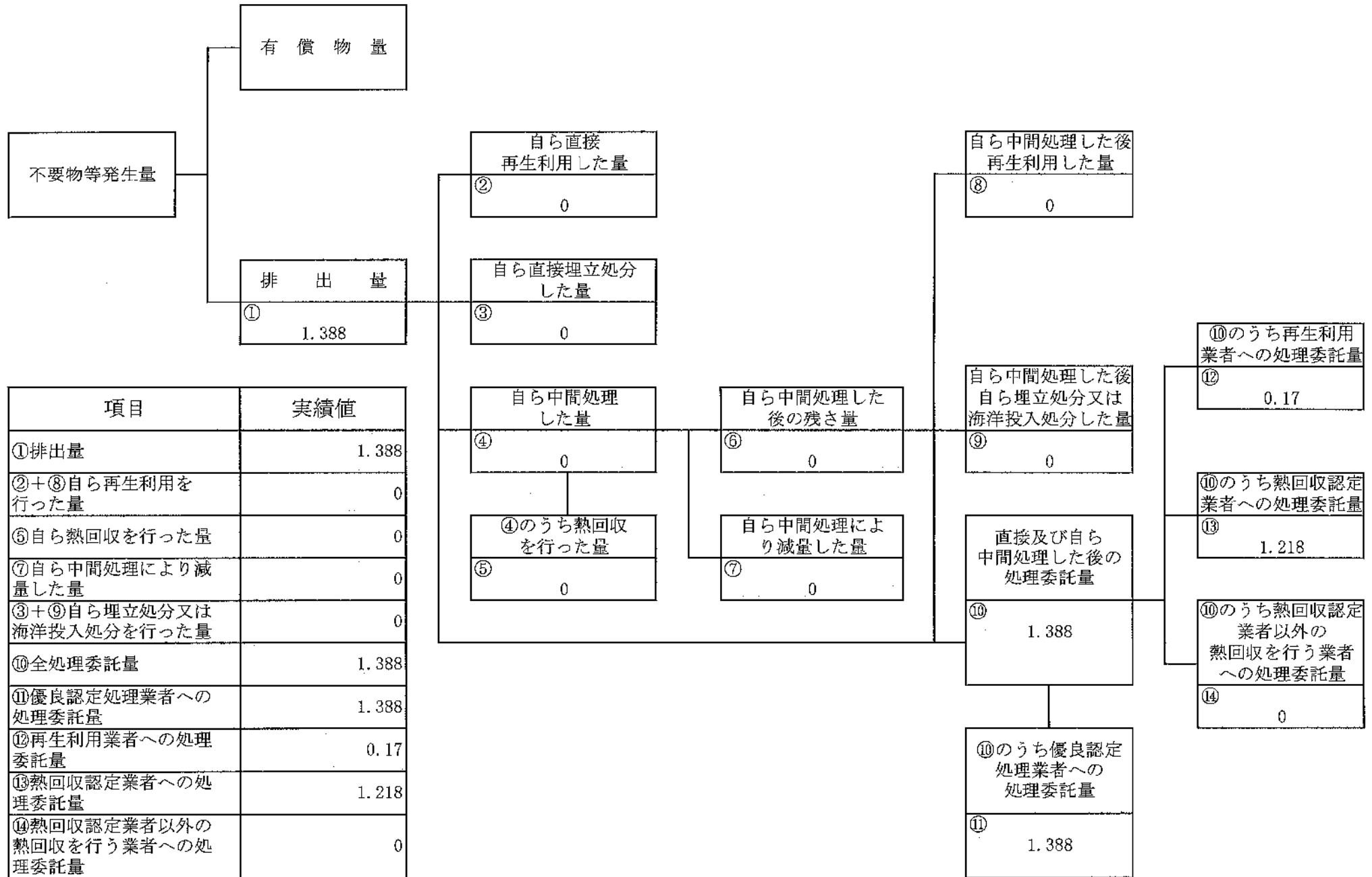
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	2.4
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2.4
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	2.4
⑫再生利用業者への処理 委託量	2.4
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

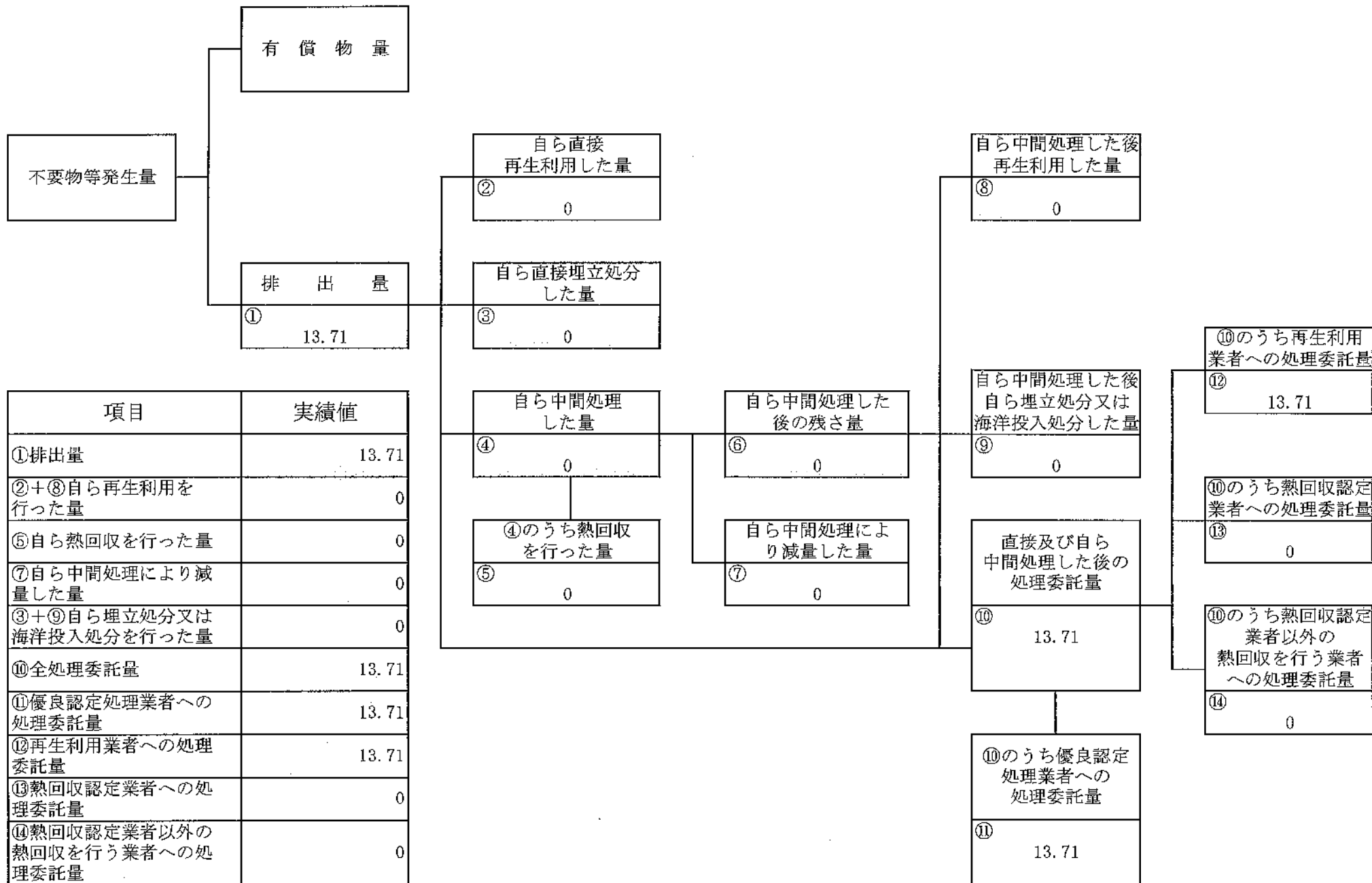
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 燃えやすい廃油)



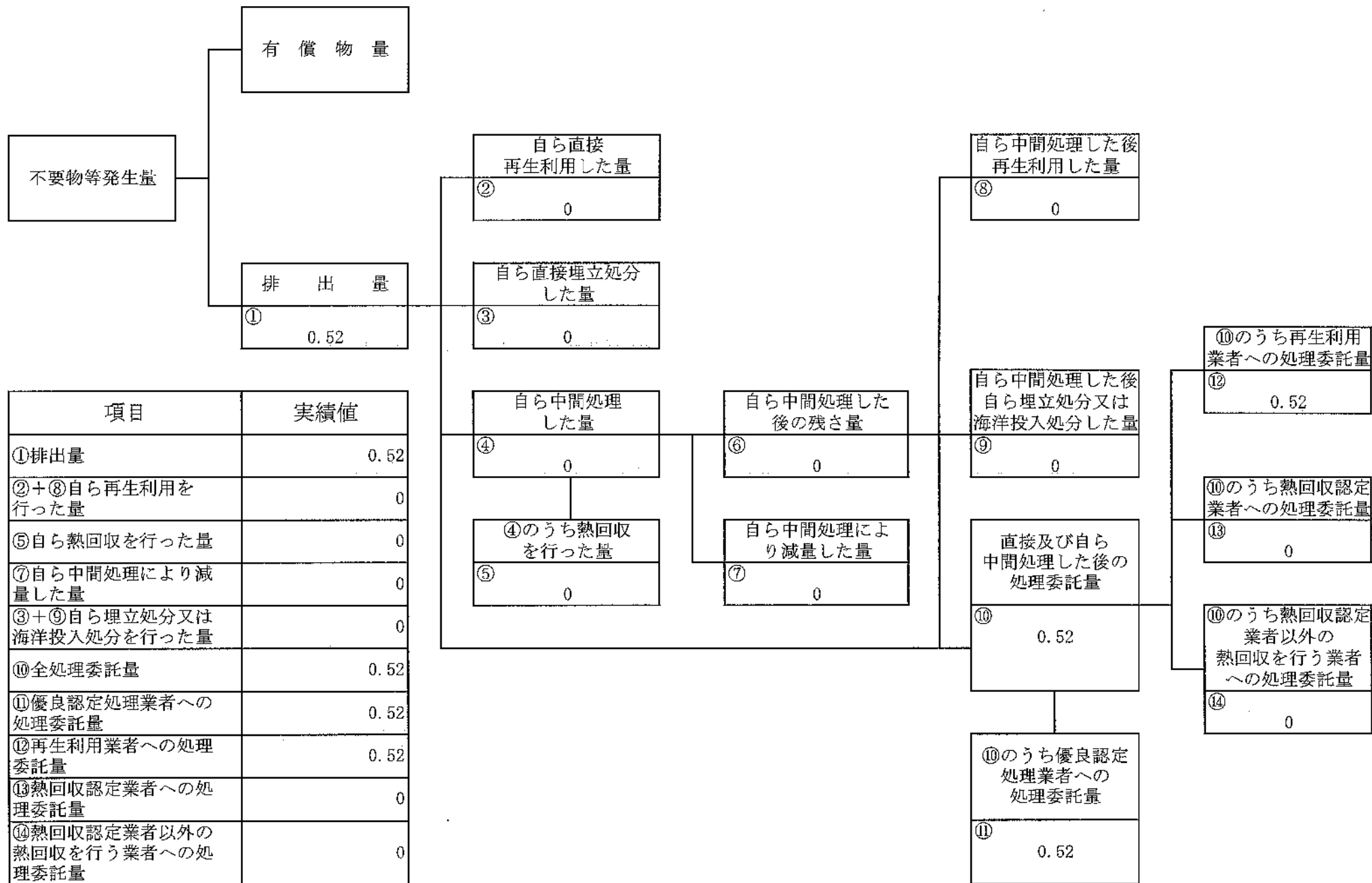
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： pH2.0以下の廃酸)



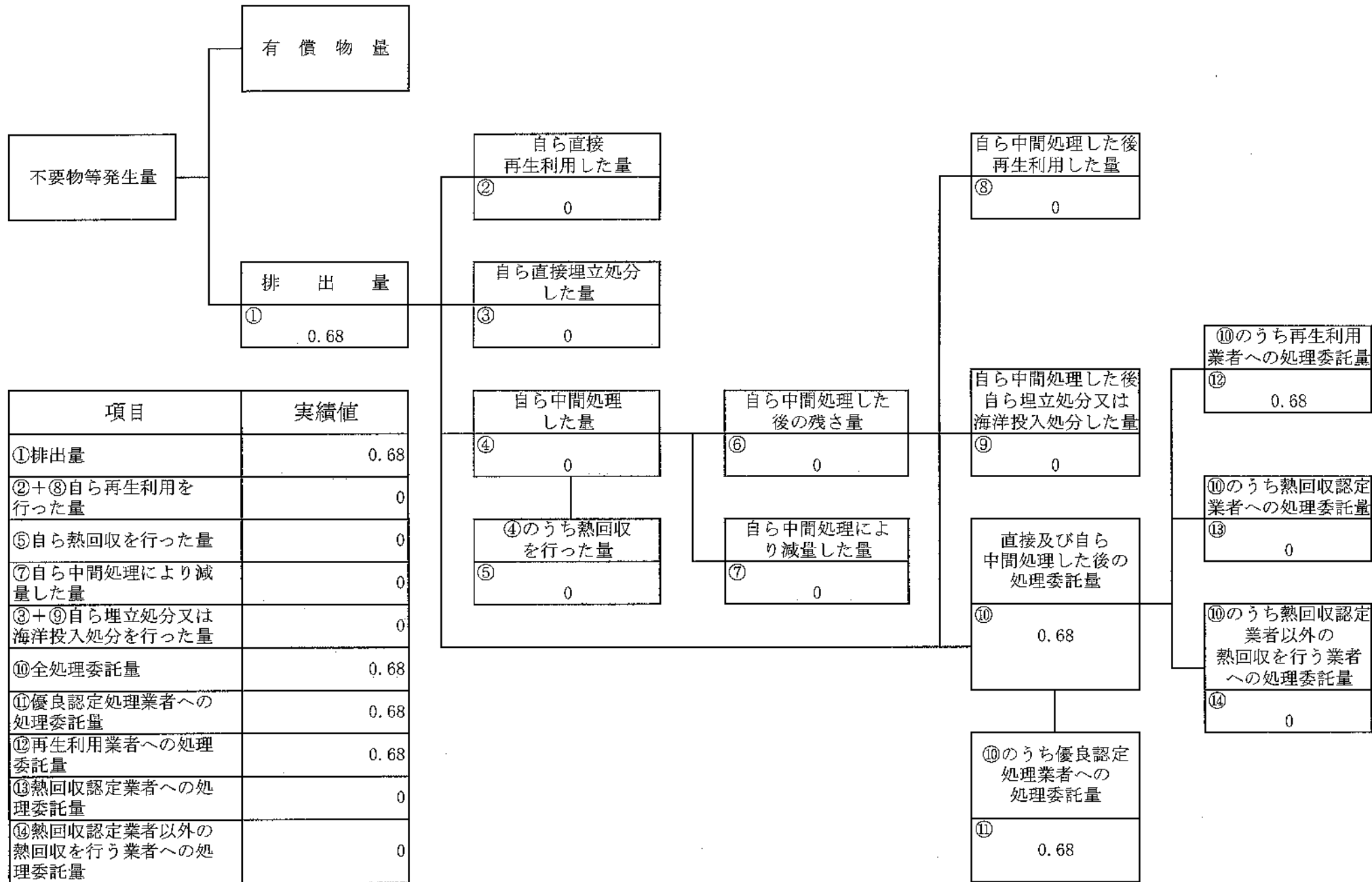
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： pH2.0以下の廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの))



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： pH12.5以上の廃アルカリ)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： pH12.5以上の廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの))

有償物量

不要物等発生量

排出量

①
36.05

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分
した量

③
0

自ら中間処理
した量

④
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
36.05

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
36.05

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
36.05

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	36.05
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	36.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	36.05
⑫再生利用業者への処理委託量	36.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 感染性廃棄物)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.001

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分
した量

③
0

自ら中間処理
した量

④
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
0.001

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
0.001

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0.001

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	0.001
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	0.001
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.001
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.001
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1 / 6)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数 (人)	1542 (人)	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	工場技術室 工場Eng課 環境係 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	26,220,889	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
項目		研磨粉 排水処理汚泥他	廃油 廃グリス他	電着塗料	洗浄液廃液	樹脂製品 ウエス・手袋他
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	55.670	281.700	3.470	684.734	428.210
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	55.670	281.700	3.470	684.734	428.210
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	669.800	34.670
		処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	E (濃縮) C
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	666.610	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	33.490	34.670
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	34.670
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	B
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	33.490	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	55.670	281.700	3.470	14.934	393.540
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	55.670	281.700	3.470	48.424	393.540
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	55.670	281.700	3.470	48.424	393.540
		処理方法	A B	A B E (油水分離・濃縮)	D	A B D E (濃縮) A C
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	52.887	146.239	3.366	34.580	241.530
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	2.784	135.140	0.104	13.844	152.001
		再生利用用途	A D	A B	A D	A B D
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.321	0.000	0.000	0.009
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内	A 県内・B 県外	A 県内
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	2.784	135.140	0.104	13.844	186.671
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	52.887	146.239	3.366	670.890	241.530
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.321	0.000	0.000	0.009

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2 / 6)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数 (人)	1542 (人)	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	工場技術室 工場Eng課 環境係 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	26,220,889	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類 (工作物の破砕、改修 又は解体に伴って生じた不量物)	指定品 混合廃棄物
		梱包材他	廃肥料 機械くず	廃薬石 ガラス・陶磁器	コンクリート ろ過石・砂	什器類
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	10.420	22.670	0.550	0.880	1.810
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	10.420	22.670	0.550	0.880	1.810
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	22.670	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.000	22.670	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量 (t/年)	0.000	22.670	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	C	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	10.420	0.000	0.550	0.880	1.810
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	10.420	0.000	0.550	0.880	1.810
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.240	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	10.420	0.000	0.310	0.880	1.810
	処理方法	C	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	C	A C
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.000	0.000	0.309	0.000	1.448
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	10.420	0.000	0.000	0.000	0.362
	再生利用用途	B	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A D
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海 洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.001	0.880	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	B 県外	B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	10.420	22.670	0.000	0.000	0.362
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.000	0.000	0.309	0.000	1.448
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.241	0.880	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3 / 6)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数 (人)	1542 (人)	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	工場技術室 工場Eng課 環境係 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	26,220,889	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	管理型 混合廃棄物	(資源物) ガラスくず・コン クリートくず及び陶磁器くず	鉛蓄電池	水銀使用製品 産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
		GRTディスプレイ	スレート・建材等	バッテリー	蛍光灯	照明機器等
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	0.040	0.090	0.240	0.050	0.010
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	0.040	0.090	0.240	0.050	0.010
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	0.040	0.090	0.240	0.050	0.010
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	0.040	0.090	0.240	0.050	0.010
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.090	0.000	0.000	0.000
		埋立処分先	A 県内・B 県外	B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0.040	0.000	0.240	0.050	0.010
		処理方法	C	A・B・C・D E ()	A C	A C
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.036	0.000	0.072	0.005	0.001
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.004	0.000	0.168	0.045	0.009
		再生利用用途	A	A・B・C・D E ()	A D	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海 洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0.004	0.000	0.168	0.045	0.009
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.036	0.000	0.072	0.005	0.001
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.090	0.000	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 4 / 6)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数 (人)	1542 (人)	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	工場技術室 工場Eng課 環境係 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	26,220,889	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		水銀使用製品 産業廃棄物	汚泥 (基準値を超える有害 物質を含むもの)	引火性廃油	pH2.0以下の廃酸	pH2.0以下の廃鹼 (基準値を超え る有害物質を含むもの)
項目		電池類	廃活性炭	廃溶剤・廃塗料	洗浄廃液等	除錆剤
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 年 度 実 績 ）	a 不要物等発生量 (t/年)	0.130	2.400	1.388	13.710	0.520
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	0.130	2.400	1.388	13.710	0.520
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	0.130	2.400	1.388	13.710	0.520
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	0.130	2.400	1.388	13.710	0.520
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0.130	2.400	1.388	13.710	0.520
	処理方法	A G	A	A	A D	D
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.013	2.328	1.346	13.299	0.504
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.117	0.072	0.029	0.411	0.016
	再生利用用途	A	A D	A D	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.012	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0.117	0.072	0.029	0.411	0.016
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.013	2.328	1.346	13.299	0.504
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.012	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 5 / 6)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数 (人)	1542 (人)	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	工場技術室 工場Eng課 環境係 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0585-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	26,220,889	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	pH2.5以上の廃アルカリ	pH2.5以上の廃アルカリ (濃縮液を除く る有害物質を含むもの)	感染性廃棄物	廃プラスチック	廃プラスチック と金属くずの混合物
		型洗浄液	脱脂廃液	医療廃棄物	樹脂製品	PBD・PSD製品他
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	0.680	36.050	0.001	169.240	352.840
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	169.240	352.840
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	0.680	36.050	0.001	0.000	0.000
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	0.680	36.050	0.001	0.000	0.000
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	0.680	36.050	0.001	0.000	0.000
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0.680	36.050	0.001		
	処理方法	D	A D	D	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.660	34.969	0.00097		
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.020	1.082	0.00000		
	再生利用用途	A	A D	A	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.00003		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0.020	1.082	0.000	0.000	0.000
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.660	34.969	0.001	0.000	0.000
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 6 / 6)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数(人)	1542(人)	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	工場技術室 工場Eng課 環境係 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	—	建設業の場合記入。 要知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	26,220,869	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	金属くず	金属くず			総合計
		プレススクラップ他	型・治具・設備他			
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	19,382.584	135.957			21,586.044
	b 有償物量(t/年)	19,382.584	135.957			20,040.621
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	0.000	0.000			1,645.423
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)					0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)					0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)					727.140
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000			636.810
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)					90.830
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)					57.340
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)					0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000			33.490
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	0.000	0.000			848.285
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	0.000	0.000			851.775
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)					0.330
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)					851.443
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)					533.592
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)					316.6278
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)					1.22324
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	0.000	0.000			373.968
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0.000	0.000			1,169.902
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000			1.553

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。